

1 【対州政府】日本企業による米国経済への貢献を発信

<計106件のロードショウ・面談で日本企業の貢献を発信>

- オンライン面談も併用しつつ、日本企業の米国地域経済への貢献や企業の課題である労働力開発の現状やニーズを伝えるロードショウを13件、知事や州商務長官など要人に対して、個別に日本企業の貢献を伝える面談を92件実施。

<貢献発信のためのジャパンセッションの開催>

- SelectUSAサミットに合わせ、日本企業の貢献と更なる投資支援を要請するための「ジャパン・セッション」を実施。州政府等82名が参加。



ネブラスカ前知事との面談
(2022年12月@ネブラスカ州)



日産R&D施設でのロードショウ
(2023年3月@ミシガン州)



セレクトUSAでのジャパンセッション
(2022年6月@メリーランド州)

2 【対日本企業】州政府と連携して対米投資を支援

<州政府セミナー等を通しての投資環境に係る情報提供>

- 州知事、州経済開発長官等の訪日機会を捉えて、日本と米国で対米投資をテーマとしたセミナーを開催。3州とのセミナーを実施し、延べ380人が参加。



ノースダコタ州知事とのセミナー
(2022年10月@東京)



エマニュエル大使との
対米投資ラウンドテーブル
(2022年5月@大阪)



インディアナ州知事との
EVサプライチェーンラウンドテーブル
(2022年5月@インディアナ州)

<ラウンドテーブル開催を通じた日本企業の課題共有>

- 日本企業を招き、ビジネスの現状や課題を共有するためのラウンドテーブルを開催。サプライヤーにも参加を促すことで、サプライチェーン全体の声が届くように工夫した。

3 バイデン政権の優先課題への対応

<サプライチェーン強靱化への対応>

- 州政府等と連携し、半導体やEVバッテリー等をテーマに、全米各州にて8コースでミッションを派遣。延べ123社が参加。
- 日本の自動車サプライヤーと米フォードとの商談会や自動車分野の展示会にてジャパン・パビリオンを展開。延べ28社が参加。

<水素分野での日米の連携を支援>

- 港湾インフラの改善や環境への配慮等において連携を図ることを目的にロサンゼルス市港湾局とMOUを締結。日本企業の技術等を紹介、港の脱炭素化を後押し。



アリゾナ州への半導体ミッション
(2022年10月)



米フォード社との商談会
(2022年11月)



ロサンゼルス市港湾局とMOU締結
(2022年11月)